

東京 多摩クリニック新築工事に着工



工事の安全を祈願して鍬入れする中原泉理事長(12月19日)

昨年12月地鎮祭を挙げる 我国初の口腔リハビリクリニック

本学では昨年十二月、口腔リハビリテーション多摩クリニックの地鎮祭を挙行し、新築工事に着工した。JR中央線・東小金井駅南口正面の同クリニックは、鉄筋コンクリート造の地上三階建て、延床面積約一四八三㎡(約四四九坪)で、本年九月に竣工予定となる。

日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニックの地鎮祭は、十二月十九日午前十一時ハビリテーション多摩二〇二年(平成二十三)より、東小金井駅前の新築用地において挙行された。

中原泉理事長・学長はじめ本学関係者約五十名が参列し、齋主である関野天神社神官により神事が行われた。

修祓、祝詞奏上に続く「鍬入れの儀」では、設計監理者の小林眞人建築研究所代表が齋鎌を、施主の中原理事長が齋鍬(鍬入れ)、施工者の伊藤藤鹿島建設執行役員が齋鍬を行った。ついで、齋主につづき、施主、設計管理者、施工者の各代表者が玉串を奉奠した。

午前十一時半に神事を終え、会場を近くの東小金井駅開設記念会館(マロンホール)に移し、直会が行われた。中原理事長の挨拶のあと、住友雅人生命歯学部長が、新築工事の無災害と無事故を祈念して乾杯の発声を行った。

多摩クリニックでは、摂食・嚥下機能障害を有



東京千代田区富士見
日本歯科大学新聞会
発行兼人 中原 泉
編集人 1部10円
発行日 偶数月末日
発行価 1部10円
編集室 (〒951-8580)
新潟市中央区浜浦町1-8
☎025(267)1500



本学のシンボルマーク



私立中山医学大学創立者(台湾) 周汝川 理事長逝去

台湾の私立中山医学大学の創立者・理事長の周汝川先生(本学29回卒)は、十二月六日老衰のため台中市にて逝去された。享年九十五。

周汝川先生は、一九四〇(昭和十五)年に本学を卒業、故郷の台湾台中市にて開業。台湾における歯科医師養成を期して、私立中山医学大学創立者周汝川先生(九十五翁)一九六〇年、台中市に牙医学部(歯科医学専攻)を創設し、歯学部、医学部など四学部、七研究所、四附属病院等を擁するアジア随一の医学系大学に発展させた。

現在、中山医学大学

多摩クリニック、案内パンフを配布

今秋の多摩クリニック案内パンフレットを作成し、クリニック開設の際に配布する。案内パンフレットは、多摩クリニックの概要、交通案内図や院内配置図を掲載したA四判。口腔リハビリテーション多摩クリニックの概要を紹介する案内パンフレット



多摩クリニックの概要を紹介する案内パンフレット

する高齢者への口腔リハビリテーションのほかに、発育期の小児の摂食機能療法、言語障害患者に対するリハビリテーションを行う。またカンファレンスや介護食教室等の開催により、在宅看護や療育に役立つ地域に根ざした情報発信基地となる。

わが国初の口腔リハビリテーションに特化した専門クリニックとして、本年九月末に竣工し、十月開院を予定している。

は、学生総数八千名、卒業生総数三万二千名で、歯学部卒業生は台湾歯科医師の四割を占める。昨年には創立五十周年を迎え、十一月に慶祝大会(記念大会)を挙行し、かくしゃくたる周先生は、創立者として建学の精神と伝統を朗々と語った。

周汝川先生追思会(追悼会)が、十二月二十四日中山医学大学講堂において開催された。本学から中原泉理事長・学長、藤田元教授(解剖学)名譽教授の仲居明先生は、一月三十一日逝去された。享年六十七歳。仲居名譽教授は、昭和四十二年東京理科大学理学部卒業。同年に歯学部歯科理工学教室助手となり、四十六年新潟歯学部配置換。講師、助教を経て、准教授を平成二十一年までつとめた。



東小金井駅前から工事現場と本学グラウンドを臨む(2月中旬)

新築工事が着々と進む

小林義典教授 日本歯科医学会会長賞 生命歯学部歯科補綴学第 講座の小林義典教授は、平成二十三年度日

本歯科医学会会長賞を受賞した。研究部門による受賞。二十四年一月二十日に開催された同学会第八十七回評議員会において授賞式が行われた。

計報

小倉英夫理事・新潟生命歯学部長、柳井智恵准教授(東京・口腔外科)が参列した。中原理事長は姉妹校代表として故人を偲ぶ言葉を述べた。合掌

牛山名譽教授(生理学) 名譽教授の牛山順司先生は、一月二十六日逝去された。享年八十七歳。牛山名譽教授は、昭和二十三年本学卒業(第三十七回卒)。昭和五十三年に新潟歯学部の総合研究センター教授に就任し、平成二年から七年まで歯学部生理学教室教授をつとめた。

平成24年

入学試験を施行

両学部、新潟短大の入学試験も

平成二十四年度の日本歯科大学入学試験は、一月中旬のセンター試験と二月初旬の本学試験をもって東京で施行し、両学部の合格者を発表した。本年も同一試験日に生命歯学部と新潟生命歯学部との受験と併願が可能となる「全学部入試」を実施した。あわせて東京短期大学と新潟短期大学の入学試験が行われた。

平成二十四年度の入学試験は例年どおり、大学入試センターによるセンター試験は一月十四・十五日の両日、全試験日に両学部の受験と併願が可能となる「全学部入試」を実施した。あわせて東京短期大学と新潟短期大学の入学試験が行われた。



試験開始前、注意事項を聞く受験生たち(2月1日・東京)

日本歯科大学 OPEN CAMPUS 2012

- ～高校生はもちろん、どなたでも参加できます～
- ◇生命歯学部(東京)オープンキャンパス
7/8(日), 8/16(木), 8/25(土), 10/14(日), 11/3(土), 11/4(日)
午前の部: 10時開始, 午後の部: 14時開始
※8/25は午後の部, 11/4は午前の部のみ
 - ◇新潟生命歯学部オープンキャンパス
5/12(土), 6/10(日), 7/14(土), 8/18(土), 9/16(日), 11/17(土)
11時20分～16時
 - ◇東京短期大学オープンキャンパス
7/27(金), 7/30(月), 7/31(火), 8/3(金), 8/31(金), 12/25(火)
日曜相談会: 6/17(日), 富士見祭相談会11/3(土), 4(日)
 - ◇新潟短期大学オープンキャンパス
6/9(土), 7/26(木), 8/26(日), 10/20(土), 3月未定
12時30分～15時

一般選抜入学試験の前、試験会場となった。本学では本年も、同一とセンター利用入試で実施した。

一般選抜入学試験の前、試験は、生命歯学部(東京)において、英語・国語・理科、三科目の学力試験と面接試験を二月一日に実施し、四日に合格者を発表した。

センター入試利用入学試験は、二月五日に生命歯学部(東京)において面接試験を実施し、七日に合格者を発表した。

一般選抜、センター利用とも合格者は、その受験番号を生命歯学部本館一階のメモリアルホールに掲示発表し、あわせて本学ホームページに掲載した。

追って、一般選抜の後期試験(学力・面接)は三月三日に、センター利用後期試験(面接)は三月十三日に、いずれも生命歯学部(東京)において「全学部入試」を実施した。

なお東京短期大学では

歯科技工学科と歯科衛生学科の一般A入学試験を一月二十二日に実施し、一般B入学試験を三月十日に実施した。

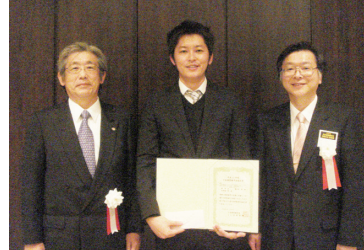
新潟短期大学では、歯科衛生学科の一般選抜前期試験を一月二十一日に実施し、一般選抜後期試験と社会人後期入学試験を三月二十五日に実施する。

辞令

- 助 教 石井 達也
講師を命ずる(附属病院 歯科麻酔・全身管理科・第87回卒)
- 平成二十三年十月一日
医学修士 伊勢村知子
名誉教授の称号を授与する
- 平成二十三年十二月一日
工学修士 中村 康則
歯学博士 名誉教授の称号を授与する
- 平成二十四年二月一日
本学

接着歯学会論文賞
原学 臨研生(東京・保存生命歯学部歯科保存学講座修復分野の原学臨床研究は、接着歯学の発展に寄与する優れた学術論文を発表した者に授与される平成二十三年度日本接着歯学会論文賞を受賞した。同学会からの修復分野受賞は、昨年につづき二年連続となった。

受賞論文は「口腔内環境想定下のストレス因子が歯頸部コンポジットレジ



左から佐藤亨第30回学術大会長、原学臨研研究生、松村英雄接着歯学会会長

平成24年度歯学会大会のお知らせ
6月2日、東京で開催と福島原発事故で、人体歯科医学研究・医療の発展は目覚ましく、日進月歩の勢いで進歩しています。歯科領域の原点は骨にあり、再生医学、加齢インプラント治療等においてもその基礎となる最重要テーマです。このため、今大会は「骨から考える歯科医療」を企画しました。

平成二十三年三月十日の東日本大震災

お口の健康 ア・ラ・カルト

鴨井久一 著

口腔の病気とその予防・治療、全身との関わりなどが楽しくわかって役にたつ一冊!

- ◆健康雑誌「いきいき」に20年間連載してきたコラムをもとに健康に関するさまざまな話題をまとめた待望の書!
- ◆歯科医療の推移や患者さんからの質問・疑問などを整理してQ&A形式でわかりやすく解説し、チェアサイドでの対話やまた待合室の患者さんにも楽しく読める話題が満載!
- ◆口腔と全身との関係や高齢者への対応など、歯科医療に必要な項目を網羅しています。



■A5判/184頁/2色刷
■定価2,730円(本体2,600円+税5%)
医歯薬出版株式会社 ☎113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10
http://www.ishiyaku.co.jp/ TEL.03-5395-7630 FAX.03-5395-7633

平成24年度日本歯科大学歯学会総会・大会
●日時: 6月2日(土)10:30~17:00(予定)
●会場: 日本歯科大学生命歯学部
●メインテーマ
『骨から考える歯科医療の将来展望』

大会会長 佐藤 巖 (生命歯学部解剖学第一講座)
準備委員長 春原 正隆 (生命歯学部解剖学第一講座)
お問合せ Tel: 03-3261-8311 (内2302)
E-mail: ma-suno@tky.ndu.ac.jp

関心は高く、低線量放射線被曝の健康被害に焦点を絞って、「放射線による健康被害を考慮」というテーマで、東京医科大学放射線医学講座・徳植公主任教授による特別講演を予定しております。

さらに、シンポジウム「骨から考える歯科医療」において「高齢社会におけるビタミンDの再評価」の先生方より発表していただきます。また、各講義・診療科等の取り組みを、パネル展示により紹介する予定です。

新潟病院・医科病院 社会実験バスを運行
このほど、新潟生命歯学部では、JR越後線関屋駅と本学新潟病院・医科病院とのシャトルバスを運行した。これは、新潟市の要請

による「超高齢社会への対応」をテーマとした大規模な社会実験として、公共交通利用から導かれる外出と健康との関連調査」を目的として、江面晃教授と小松崎准教授が担当して社会実験を行った。

二月初旬から二週間、午前と午後一日九往復のシャトルバスを運行し、近隣の高齢者の方々の通院と外出を支援した。

新潟病院・医科病院、JR関屋駅間シャトルバス

